学校番号	２１０２

令和３年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰa	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「数学Ⅰ　Advanced」　（東京書籍）						
副教材等	準拠問題集「PRIME　数学Ⅰ＋A」　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、みずから考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

2　学習の到達目標

図形と計量、2 次関数及び集合と論証について基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，集合と論証，2 次関数および図形と計量における考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して，集合と論証，2 次関数および図形と計量における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考察し，表現できる。	数学的活動を通して，集合と論証，2 次関数および図形と計量において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の技能を身につけ，的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して，集合と論証，2 次関数および図形と計量における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等	単元テスト 定期テスト ワークシート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
中間考査まで	2次関数	1節　関数とグラフ					a: 2 次関数に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象を 2 次関数を用いて考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 事象を 2 次関数を用いて表現・処理する技能を身につけている。 d: 2 次関数に関する基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等
		関数	○	○		○		
		2次関数とそのグラフ		○	○	○		
		2次関数の最大・最小		○	○	○		
		2次関数の決定	○	○	○			
		2節　2次方程式・2次不等式						
		2次方程式の解法		○	○			
		2次方程式の実数解の個数	○			○		
		2 次関数のグラフと x 軸の共有点	○	○		○		
		2 次不等式	○	○	○	○		
		2 次不等式の応用		○	○	○		
期末考査まで	図形と計量	1節　鋭角の三角比					a: 三角比に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 事象を三角比を用いて考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 事象を三角比を用いて表現・処理する技能を身につけている。 d: 三角比に関する基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等
		直角三角形と三角比	○	○		○		
		三角比の相互関係		○	○	○		
		2節　三角比の拡張						
		三角比と座標	○	○	○	○		
		三角比の性質		○	○	○		
		3節　三角形への応用						
		正弦定理			○	○		
		余弦定理	○	○	○	○		
		三角形の面積	○		○	○		
		空間図形の計量	○		○			

	集合と論証	1節　集合 集合 2節　命題と論証 命題と条件 論証	 ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a: 集合と論証に関心をもつとともにその有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: いろいろな集合や命題を考察し，　その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 集合に関する問題を解いたり，命題を論理的に扱うことができる。 d: 集合と論証に関する基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。